

第 2 回 定 例 会

# 市 長 行 政 報 告

令 和 元 年 6 月

北 広 島 市

令和元年第2回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

## 1 保育施設、学童クラブ及び児童センターの防犯対策について

まず始めに、保育施設、学童クラブ及び児童センターの防犯対策についてであります。本年度、大曲児童センター入口に電気錠装置及びインターホンの取付を実施し、これにより市が運営するすべての保育園、学童クラブ及び児童センターにおいて常時施錠を行うこととしたところであります。

防犯カメラにつきましては、公立保育園3か所を含む9か所の保育施設と学童クラブ1か所、児童センター2か所において設置しているほか、本年4月に、大曲学童クラブにおいて投石により窓ガラスが割られる被害があったことを受け、被害を受けた大曲学童クラブのほか単独施設の学童クラブ3か所に、防犯カメラを設置することといたしました。

また、滋賀県大津市において、保育所外での移動中に園児ら16名が死傷する大変痛ましい交通事故が発生したことを受け、保育所外での移動コースの再点検を行ったほか、安全管理の徹底について国からの通知を受け、市内全保育施設に周知を図ったところであります。

学童クラブ、児童センターへの来所・帰宅時の安全点検につきましては、国の「登下校防犯プラン」より、昨年10月に、教育委員会、警察等と合同で通学路の安全点検を行ったところであります。

今後につきましても、児童、園児の安全確保に向けて取組を進めてまいります。

## 2 夜間急病センター、福祉センター内施設等の移転及び業務の開始について

次に、夜間急病センター、福祉センター内施設等の移転及び業務の開始についてであります。社会医療法人即仁会が旧北広島病院跡地に建設しておりました北広島エルフィンビルが竣工し、6月1日から定期建物賃貸借契約に基づき、ビルの一部を賃借したことから、現在移転に向けた準備を進めているところであります。

今後につきましては、6月24日に北広島市社会福祉協議会及びきたひろしま暮らしサポートセンター「ぽると」が、6月27日に子ども発達支援センターが、6月30日に夜間急病センターが、新しい施設での業務開始を予定しているところであります。

なお、6月29日には、広く市民の皆様にお披露目するため、子ども発達支援センターのオープニングイベントを開催するほか、夜間急病センターを含めた施設の市民の皆様に向けた内覧会を予定しているところであります。

設計の段階から各施設の特長を生かすことができるように配慮された明るく快適な施設となっておりますので、今後一層の市民サービスの向上が図られるものと考えております。

### 3 子育て世代包括支援センターの開設について

次に、子育て世代包括支援センターの開設についてですが、愛称を「きたひろすくすくネット」とし、7月1日の開設に向け、現在、施設の改修やシステムの整備などを進めているところであります。

今後につきましては、センターの開設により、妊娠・出産から子育て期にわたるまで、切れ目のない包括的な相談支援が可能となり、安心して産み育てることができる環境の充実が図られるものと考えております。

### 4 子育てアプリについて

次に、子育てアプリについてですが、妊娠している方や子育て中の保護者のスマートフォン等に、市からのお知らせや子育て情報を提供するもので、本年7月から試行的に導入することとしたところであります。また、このアプリでは、子どもの成長の記録や写真などを保管する機能も備えているところであります。

今後につきましては、試行期間中の利用状況等を踏まえ、来年度からの本格実施について検討してまいりたいと考えております。

## 5 平成30年北海道胆振東部地震について

次に、平成30年北海道胆振東部地震についてありますが、この度の地震災害にあたっては、多くの団体、個人、企業から、寄附金や義援金などいただいております。寄附金につきましては、災害復興に活用させていただくとともに、義援金につきましては、5月27日に開催された配分委員会におきまして、第3次の配分内容が決定され、随時、追加交付等を行っているところであります。

また、市内において最も地震による被害の大きかった大曲並木地区につきましては、4月から大曲並木地区全体の安全性を確保するための復旧対策工事に必要な調査及び実施設計を進めるとともに、関係住民とは、合意形成に向けた協議を個別に行っているところであります。

今後につきましても、被災された方々の再建と被災地の復興に向け、全力を挙げて取り組んでまいります。

なお、本定例会において、復旧対策工事に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

## 6 北海道中央バス株式会社が運行する北広島団地線の再編について

次に、北海道中央バス株式会社が運行する北広島団地線の再編についてであります。3月6日に地域公共交通活性化協議会において、日中時間帯における循環運行など再編に係る一定の方向性が示されたことから、4月16日及び4月23日に北広島団地地区および東部地区において、市民説明会を3回開催したところであります。説明会には58名の参加があり、参加者からは路線の経路や運賃等についての質問が出されたところでもあります。

今後につきましては、本年秋ごろの再編に向けて、運賃や運行時刻、新規に設置されるバス停の位置等の検討を進めてまいります。

なお、本定例会において、北広島団地線再編に係る必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

## 7 プレミアム付商品券発行事業について

次に、プレミアム付商品券発行事業についてであります。本年10月に予定されております消費税及び地方消費税の引上げに伴う、低所得者や子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費喚起等を目的に、国の補助金を活用し、プレミアム付商品券の発行・販売等の事業の実施に向けた準備を進めることとしたところであります。

なお、本定例会において、本事業に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

## 8 U I J ターン新規就業支援事業について

次に、U I J ターン新規就業支援事業についてであります。国では若者等が地方へ移住する動きを加速させるための対策として「わくわく地方生活実現政策パッケージ」を策定しているところであります。

この度、北海道において、本政策パッケージに基づく地方創生推進交付金を活用した「U I J ターン新規就業支援事業」を道内各市町村と共同で実施することとしたことから、本市におきましても、定住促進を図るため、北海道と共同で本事業を実施することとしたところであります。

なお、本定例会において、本事業に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

## 9 立地適正化計画について

次に、立地適正化計画についてであります。人口減少が進む中、将来にわたり持続可能な都市経営を可能にするため、都市機能や居住機能の集積、公的不動産の有効活用など、その指針となる計画として、昨年12月に策定し、本年4月1日に公表したところであります。

本計画では、J R 北広島駅周辺を都市機能誘導区域に指定しており、公的不動産の有効活用等により、賑わいの創出や交流拠点づくり、市民サービス機能が集積する地区形成を目指しているところであります。

今後につきましては、駅西口の土地利用について、市場性等を把握するため、本年8月ごろに民間事業者から広く意見や提案を求めるマーケットサウンディング調査を実施してまいりたいと考えております。

## 10 「ミュージックセキュリティーズ株式会社」との包括連携協定について

次に、「ミュージックセキュリティーズ株式会社」との包括連携協定についてありますが、地方創生の推進を目的に、5月10日に締結したところであります。

「ミュージックセキュリティーズ株式会社」は、東京都千代田区に本社を置く企業であり、これまでに北海道や東広島市を含め、約30の地方公共団体とクラウドファンディングなどの事業を実施してきております。

本協定では、地域経済の活性化やボールパークを核としたまちづくりの推進などについて、相互に協力して進めることとしており、今後、ファイターズ選手会が作成した絵本などを購入し、市内の幼稚園や保育園、児童センターなどに配布する「ファイターズ絵本プロジェクト」の実施を予定しているところであります。

## 11 北海学園大学との連携協定について

次に、北海学園大学との連携協定についてありますが、相互の資源を活用した連携を強化することを目的として、6月18日に協定を締結することとしております。

連携につきましては、これまでも各種審議会の委員や学生の地域活動等を通じて行ってきており、また、例年実施しております地域連携特別講座につきましても、本年度は6月18日、6月25日、7月2日に芸術文化ホールで実施することとしております。

今後につきましても、連携協定に基づき、地域の活性化や人材育成などの取組を一層進めてまいりたいと考えております。



## 12 北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク構想の推進について

次に、北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク構想の推進についてありますが、2月23日には、芸術文化ホールにおいて「ボールパークと共に描くまちづくり」と題しまして、球団と連携したシンポジウムを開催し、500名を超える市民の皆様にご参加いただいたほか、2月27日には、JR北海道、北海道ボールパーク、球団、市の4者による会談を実施し、実務者レベルの協議も行っているところであります。

また、4月9日には、石狩管内を含むボールパーク周辺の13自治体による「ボールパーク圏域連携勉強会」を開催したところであり、ボールパークを活用した市町村間の連携方策について、定期的な勉強会を重ねていくほか、7月には、民間関係団体も含め、ボールパークを通じた道内各地の活性化に向けて連携協議会の設置も予定しているところであります。

交通アクセス等の整備についてではありますが、市道整備につきましては、昨年度から実施しております環境調査が本年7月に完了する予定となっており、来年度から本格的にスタートする道路の工事に向けて、今後、測量や実施設計を進めていくこととしております。

JR北海道におきましては、観客輸送の混雑緩和を図るため北広島駅の改札やホーム等の改修を進めるとともに、新駅建設に係る駅舎・線路設備等の概要や工事費、工期の概算等について調査を行うほか、新駅建設候補エリアにおける土地の地形や地質等の現況調査を実施することとしたところであります。

また、新球場建設に向けて粗造成を実施するため、本定例会において本事業に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

今後につきましても、2023年開業に向け、各種整備を進めるほか、市民の皆様やボールパーク推進期成会とともに、さらに機運を高められるよう、引き続き球団や関係機関との協議を進めてまいります。

### 13 平成30年度における寄附について

次に、平成30年度における寄附についてであります。現金による個人・企業等からの寄附につきましては、19件、17,315,936円、「ふるさと納税」につきましては、2,565件、40,590,817円、災害復興を目的とした寄附につきましては、28件、20,039,044円となり、合計で2,612件、77,945,797円の寄附をいただいたところであります。

また、物品の寄附につきましては、新小学1年生への色鉛筆・クレヨンセット、図書館への図書など8件となっております。

ご寄附をいただきました皆様に心から感謝を申し上げるとともに、本市のまちづくりのため、大切に活用させていただきたいと考えております。

以上申し上げ、行政報告といたします。